

2024年03月26日

新宿区長 宛て

団体名 チーム・フランポネ  
所在地 東京都新宿区百人町2-7-9 STKビル  
(フリガナ) シマカ マブ  
代表者氏名 島岡 学 印

## 新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第10条の規定により、下記のとおり報告します。

		記
1 収支計算額	収入	<u>851,974 円</u>
	(内助成金)	<u>500,000 円</u>
	支出	<u>851,974 円</u>

## 2 助成事業

事業名	新宿国際交流漫才大会 S-1グランプリ
実施の日時又は期間	漫才作成講座 2024年7月から令和6年2月まで 新宿国際交流漫才大会 2024年2月24日(土)
対象者の範囲及び人数	対象：新宿区にある日本語学校に通う外国人 人数：漫才作成講座を新宿区内の日本語学校等7カ所にて実施。 外国人留学生のべ217名が漫才を体験し、漫才大会には6名の参加があった。
事業内容	(1) 漫才作成講座 区内の日本語学校等7カ所で、外国人留学生を対象に、新宿区の日本語学校などで、2分間の漫才の完成を目指す講座を実施した。 (2) 新宿国際交流漫才大会 漫才作成講座を受講した外国人留学生が出演者する漫才大会「新宿国際交流漫才大会 S-1グランプリ」を四谷区民ホールで開催した。

<p>具体的な活動状況</p>	<p>① 日本語教師説明会  7月21日(金) 日本語教師25名参加  新大久保、大久保、高田馬場にある日本語学校の日本語教師  に対して「S-1グランプリ」の趣旨説明を行った。</p> <p>② 漫才作成講座 合計25回開催 合計217人参加  (1) 早稲田EDU日本語学校 14回開催、計88人参加  実施日：  7/26(水曜日)、7/27(木曜日)、7/31(月曜日)  8/17(木曜日)、8/21(月曜日)、8/22(火曜日)、8/23(水曜日)  9/7(木曜日)、9/8(金曜日)、9/11(月曜日)、9/12(火曜日)、  9/14(木曜日)、9/15(金曜日)、9/19(火曜日)</p> <p>(2) ISI日本語学校 2回開催1計28人参加  実施日：10/13(金曜日)、1/24(水曜日)</p> <p>(3) KAI日本語学校 1回開催1計19人参加  実施日：10/20(金曜日)</p> <p>(4) 東京富士大学 2回開催、計14人参加  実施日：12/15(金曜日)、1/12(金曜日)</p> <p>(5) ARC ACADEMY日本語学校 3回開催、計17人参加  実施日：1/25(木曜日)、2/1(木曜日)、2/8(木曜日)</p> <p>(6) 大久保図書館 1回開催、計10人参加  実施日：2/11(日曜日)</p> <p>(7) 新日本語学院 2回開催、計41人参加  実施日：2/16(金曜日)、2/19(月曜日)</p> <p>③新宿国際交流漫才大会 S-1グランプリ  実施日：2/24(土曜日)  会場：四谷区民ホール  参加者：出演者 3組(6名)  一般参加 8名</p>
-----------------	--

<p>事業の成果</p>	<p><b>【日本語教師説明会の開催】</b></p> <p>事業の実施にあたり、新大久保、大久保、高田馬場にある日本語学校の日本語教師に対して「S-1グランプリ」の趣旨説明を行ったところ、10校以上から参加意向があり、最終的に日本語学校（5校）、大学1校、新宿区にある図書館1箇所にて漫才作成講座を実施することができた。</p> <p>漫才作成講座の実施後、日本語教師の先生にアンケートを取ったところ、86.7%の先生から80%以上の満足度との回答を得ることができた。</p> <p><b>【漫才作成講座】</b></p> <p>7月から2月までの8か月間で25回、新宿区内にある日本語学校、日本語教室等で漫才作成講座を開催し、のべ217名の外国人留学生在が受講した。</p> <p>講座では、講師による漫才の実演を行った後、漫才の基本的な作り方を授業の冒頭で説明した。その後、生徒同士で2人組を作ってもらい、3行の漫才のシナリオを作成、発表するという流れで進めた。</p> <p>漫才は、初めにボケ役がおかしなことを言い、ツッコミ役が、何がどうおかしいかをツッコミという形で説明するという流れが基本となっている。そのため、外国人留学生在が言い間違えて笑われた日本語がそのままネタに出来ることから、日本語に慣れない外国人留学生在でも、参加しやすい講座として実施することができた。</p> <p>漫才作成講座は、日本語教師からも高い評価を得ることができたため、次年度以降も継続できるよう、日本語学校等と調整をしていきたい。しかしながら、今年度と同じ形態では、講師の派遣費用が嵩んでしまい、助成金頼りの事業となってしまうため、事業収入が得られるような形態を検討し、実施出来るよう、手法等を検討していきたい。</p> <p><b>■日本語教師からの評価</b></p> <p>講座を実施した日本語学校の教師からは、下記のような評価をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな分野でも日頃関わらない日本人と関わることには価値があると思います。学生にとって新鮮だっただけでなく自分が知らない学生の一面が見られました。</li> <li>・学生の別の顔が見られた点です。かなりのボリュームの具体例をインプットすること、ポジティブなフィードバックを与え続け、ハードルを下げることで、楽しんで参加する雰囲気を保つことで、普段消極的な学生の違った側面が見られ、感動しました。</li> </ul>
--------------	---

**【新宿国際交流漫才大会S-1グランプリ】**

2月24日に四谷地域センターで、新宿国際交流漫才大会S-1グランプリを開催した。漫才大会は出演者は3組6名、般参加者8名であった。

漫才大会では、漫才作成講座に参加した外国人留学生が、出演者となり、漫才の発表を行う場として開催した。当初の計画では、漫才大会への参加人数（出演者）は10組程度で計画していた。しかし、区広報誌やSNS等で周知をおこなったものの、開催日時を2月24日に設定したため、中国とベトナムからの留学生が春節（テト）のため帰国、もしくは本国から家族や両親が遊びに来る等の理由で、出演者数・参加者数が集まらなかった。

参加者が少なかったことは非常に残念である。講座による成果発表の場として計画していたため、年度末の開催スケジュールとしたが、もう少し早い時期に開催すればよかったと反省している。

次年度以降、同様のイベントを企画する際には、春節（テト）の時期等、外国人留学生達の事情についても考慮し、計画をしていきたい。

**■参加者の声**

「こんなに簡単に漫才ができるとは思わなかった」、「楽しかった」、「漫才とは何かが分かった」などの肯定的な意見が多数あった。一方で作ったネタを漫才大会で披露するのは難しい、という意見もあった。

収支決算書

費 目		予 算 額	内 訳			
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	32,000 円	日本語学校向け漫才作成講座説明会 会議室使用料 8,000円 2/4四谷地域センター使用料 24,000円			
	②消耗品及び印刷費	38,700 円	消耗品(漫才作成講座用事務用品) 5,040円 漫才大会出場者募集チラシ(A4 1000部)印刷費 22,770円 漫才大会周知用チラシ(A4 400部)印刷費 10,890円			
	③委託費	5,000 円	チラシデザイン料 5,000円			
	④講師謝礼	750,000 円	15,000円×2人×25回=750,000円 (講師1人90分1回15,000円 交通費込み) 【内訳】 藤田ゆみ 15,000円×25回=375,000円 島岡プリシラ 15,000円×25回=375,000円			
	⑤その他謝礼	0 円				
	⑥交通費	26,274 円	打合せ(2回) 1,624円 漫才作成講座(24回) 23,548円 漫才大会(1回) 1,102円			
	⑦保険料	0 円				
	⑧その他諸経費	0 円				
	⑨新型コロナウイルス感 染症対策経費	0 円	※上限20,000円			
	⑩人件費	0 円	※下記「事業費」の25%以内 (283,992)			
事業費 (①から⑩の合計)		851,974 円				
⑪ファンドレイジングに関 する経費		0 円	※事業費の5%以内 (42,599)			
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		851,974 円				
⑬助成対象外経費		0 円				
<b>事業総額</b>		<b>851,974 円</b>				

内 容		予 算 額	積 算 根 拠 (内 訳)			
収 入 区 分	㉞ 事業収入 (参加料、資料代等)	0 円				
	㉟ 寄附金	0 円				
	㊱ 補助金収入	0 円	予算時		返還額	0
	㊲ 協働推進基金助成金	500,000 円	交付額	500,000	返還額	0
	㊳ 団体負担金	351,974 円				
	<b>収入総額</b>	<b>851,974 円</b>				

返 還 金	0 円	
-------	-----	--

## 自己評価表

1 各項目に評価点を付し、「評価の理由」欄には、判断した理由や実績、課題等を記載してください。

【評価点】 4:計画書以上 3:概ね計画書どおり 2:一部計画書どおり 1:ほぼできなかった

評価のポイント	評価点	評価の理由
地域課題や社会的課題に対して成果や効果があったか。	3	新宿区で日本語を学ぶ外国人留学生と新宿区民が「お笑い」を通じた交流を促進させ、外国人に対する差別意識の軽減を目的に事業を展開した。 新宿区にある日本語学校で漫才作成講座を25回実施し、また漫才大会を開催したことで、「お笑い」を通じた交流の促進は図れたと考える。
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	3	漫才作成講座では、多くの外国人留学生に講座に参加してもらえた。「漫才」を通じて、日本語や日本の文化を学んでもらうことができたため、多文化共生に寄与できたと考える。
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	3	ほぼ計画通りに実施することができた。 当初の予定通り、漫才作成講座を日本語学校等で実施した。差別意識の軽減についても、事業の目的としていた事業であったため、日本語学校だけでなく、多くの外国人の子どもが通う新宿区の小中学校でも講座を実施することができればよかったが、実現に至らなかった。
実施にあたり、必要な人員や安全等の確保がなされたか。	3	漫才作成講座については、事前に日本語学校教師向けの説明会を行った後、打合せ等連絡調整のうえ、実施したため、トラブルなく進めることができた。 漫才大会については、より多くの方に来てもらえるよう、当初の計画から会場を変更し、四谷地域センターで開催した。また、事前に会場を見学するなど実施前に準備を行った。
経費見積りは適正だったか。資金確保に努めたか。	3	今回は非営利で実施したが、今後は自分たちで事業収入を得られる形を取り、事業を展開していく。今後は、助成金頼りではなく、自分たちの事業収入のみでの実施に向けて、寄付やクラウドファンディングを活用し、資金確保を行う。
団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。	3	お笑い芸人という専門性を活かすことができた。また、「漫才」を取り入れた国際交流は過去に前例はなく、先駆性がある事業が実施できたと考える。

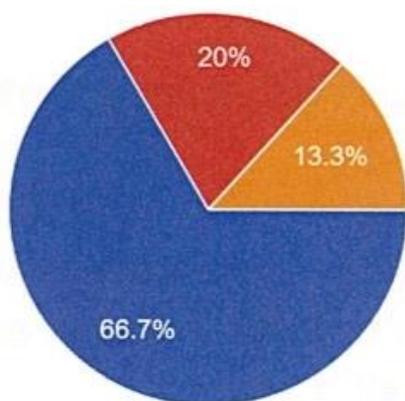
<p>継続性や発展性が期待できるものとなったか。</p>	<p>3</p>	<p>2024年4月以降に関して新宿区以外でも同じようなイベントを実施することが決定している。                  具体的には中野区、世田谷区、荒川区でも国際交流漫才を実施、将来的には23区すべてで実施する予定である。</p>
------------------------------	----------	--

2 事業全体を振り返って気づいたこと等をお書きください。

<p>事業を実施したことで見えてきた良かったこと、また課題や改善策。</p>	<p>助成金を受けたことで、日本語学校に対して無償で「漫才作成講座」を実施することができた。                  累計で200名以上が漫才作成講座を受講したが、漫才大会の参加に関しては非常に消極的であり、最終的に3組6名の参加となり漫才大会の規模が当初の予定より小さなものになってしまった。講座を通じて漫才に興味を持ってもらい、発表をしてもらう場として漫才大会を開催するという計画であったが、大会が春節の時期と被り、外国人留学生が帰国したこと等が原因だと分析する。                  今回見つかった課題については、次回、外国人向けのイベントを実施する際に、外国人特有の事情についても考慮し、イベントの開催時期について考慮して実施したい。</p>
<p>助成金を利用することで、団体や事業にとって有益となったこと。                  (例：事業運営での気づきや工夫、解消された課題等)</p>	<p>当団体は、立ち上げたばかり団体であるため、まだ十分な資金力がない。そのため、助成金を使うことによって漫才作成講座及び漫才大会を実施することができたことが、自分たちの団体にとって大変有益であった。                  また、漫才大会の当日に、新宿区区民の方に来て頂き、そこでLGBTQの団体様と知り合うことができたことや、一般事業助成に採択されたことで、他の団体のイベント等と呼ばれる機会があり、団体同士の横の繋がりが増え、活動の場を広げることができたことは大きな収穫があったと考える。</p>

## 令和5年度一般事業助成 漫才作成講座 先生方へのアンケート結果

学生の様子・講座の満足度はどうでしたか？（15件の回答）



- ・青： とても楽しんでいました（満足度 100%） 10 人
- ・赤： 楽しんでいました（満足度 80%） 2 人
- ・オレンジ： 少し戸惑っていた（満足度 60%） 3 人
- ・緑： 戸惑っていた（満足度 40%） 0 人

今回の授業の良かった点を教えてください（自由回答）

- ・まず学生たちが本当に楽しんでいました。漫才を見たことがある学生も数名いて、その中の一人は「前に見た時は何がどうなっているのかよく分からなかったけどボケとツッコミという構成が良く分かったので今度は分かると思う」と言っていました。
- ・よく通る声で、やさしい日本を意識しながら話していらっしゃるのがよく分かった。
- ・拍手して挨拶の練習というキャッチーなところから学生の関心を掴んでいた。
- ・スピード感があって学生が集中して取り組めた。
- ・メンタルに不安のある学生がいたので見学 OK にして頂いてよかったです。またクラス全体として N1 と N2 の間のレベルですがしっかりお話して頂けました。
- ・学生がああのテンポについていけて、よく笑っていたので私も驚きました。構成や時間配分も学生に伝わりやすくて良かったです。
- ・漫才へのハードルが下がった点です。
- ・どんな分野でも日頃関わらない日本人と関わることには価値があると思います。学生にとって新鮮だただけではなく自分が知らない学生の一面が見られました。

2024年2月24日（土）実施 新宿国際交流漫才大会 S-1 グランプリ、アンケート結果  
8人中6人から回答

・漫才大会のネタに関して満足度はどうだったか？

とても良かった(100%) 4人 良かった (80%) 1人 どちらとも言えない(60%) 1人

外国人留学生の披露した漫才はどうだったか？

とても良かった(100%) 4人 良かった (80%) 1人 どちらとも言えない(60%) 1人

外国人との交流に役立ったか？

とても良かった(100%) 4人 良かった (80%) 1人 どちらとも言えない(60%) 1人

その他のコメント：

- ・外国人だけではなく今後はセクシャルマイノリティを含めた漫才大会を実施して欲しい
- ・留学生だけではなく新宿に住んでいる小中学生、もしくは家族が参加する漫才大会をやって欲しい
- ・やさしい日本語だけで漫才が作れるのは意外
- ・フランポネさん 及び 藤田さんを応援しています。